

財務・非財務ハイライト

J.フロント リテイリング株式会社および連結子会社

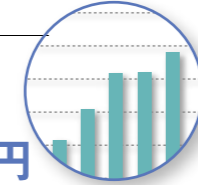
単位:百万円 (別途記載のものを除く)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
売上高	941,415	1,092,756	1,146,319	1,149,529	1,163,564
うち賃料収入	6,961	9,076	10,195	10,727	12,094
売上総利益	226,646	245,615	244,130	243,663	245,532
販売費および一般管理費	205,052	214,757	202,313	201,572	197,494
営業利益	21,594	30,857	41,816	42,091	48,038
経常利益	22,941	32,202	40,502	40,404	47,910
当期純利益	18,804	12,183	31,568	19,918	26,313
総資産	767,543	1,009,165	998,730	1,018,700	1,019,146
自己資本	332,917	341,318	370,173	376,091	383,699
純資産	342,561	390,667	422,215	430,260	440,594
有利子負債総額	106,025	213,085	187,950	168,458	180,922
営業活動によるキャッシュフロー	24,365	26,025	37,532	44,650	36,799
投資活動によるキャッシュフロー	△26,781	△73,977	△8,858	△16,272	△39,741
財務活動によるキャッシュフロー	△6,872	58,275	△32,027	△27,587	△1,041
設備投資	19,246	19,038	52,758	24,277	37,110
減価償却費	13,347	16,482	17,698	17,963	18,345
1株あたり情報(単位:円)					
1株あたり当期純利益(EPS)※1	71.15	46.11	119.55	75.47	100.42
1株あたり純資産(BPS)※1	1,259.60	1,292.36	1,402.52	1,425.05	1,467.05
1株あたり配当金※1	16.00	18.00	22.00	25.00	27.00
財務指標(単位:%)					
売上高総利益率	24.08	22.48	21.30	21.20	21.10
売上高販管費比率	21.8	19.7	17.6	17.5	17.0
営業利益率	2.6	2.8	3.6	3.7	4.1
自己資本当期純利益率(ROE)	5.8	3.6	8.9	5.3	6.9
総資産営業利益率(ROA)	2.8	3.5	4.2	4.2	4.7
自己資本比率	43.4	33.8	37.1	36.9	37.6
配当性向	22.5	39.0	18.4	33.1	26.9
非財務指標					
従業員数(連結)(単位:人)	13,413	14,838	11,561	11,149	11,023
女性社員比率(大丸松坂屋百貨店)(単位:%)	45.9	44.8	48.5	48.9	49.9
女性リーダー比率(単位:%)※2	19.0	15.7	24.6	27.7	28.2
百貨店売場面積(直営)(単位:m ²)	573,323	569,137	543,785	529,460	498,460
パルコ売場面積(単位:m ²)	443,000	442,600	442,600	451,000	456,089
入店客数(大丸松坂屋百貨店)(単位:人)	236,876	246,764	237,647	220,411	207,512
客単価(大丸松坂屋百貨店)(単位:円)	3,797	3,838	4,107	4,215	4,414
自社カード発行枚数(大丸松坂屋)(単位:枚)	4,365	4,580	4,659	4,595	4,217
自社カード発行枚数(パルコ)(単位:枚)	1,612	1,614	1,643	1,754	1,885
エネルギー使用量(大丸松坂屋)(単位:原油換算/kJ)※3	96,860	93,498	87,083	81,639	79,812
包装資材使用量(大丸松坂屋)(単位:t)※4	2,628	2,670	2,979	2,657	2,532
廃棄物処分量(大丸松坂屋)(単位:t)※5	10,919	10,711	10,361	9,173	8,610
食品廃棄物処分量(大丸松坂屋)(単位:t)※6	2,327	2,109	1,955	1,717	1,617

※1.2014年9月1日付けで普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2011年度の期初に当該株式併合が行われたと仮定し、それぞれの1株あたり情報を算出してあります。
 ※2.2012年度までは大丸松坂屋百貨店の部長、マネジャー、バイヤー、デベロッパー&エディター、チームリーダー、アシスタントバイヤーの合計。2013年度以降は、大丸松坂屋百貨店(J.フロント リテイリング並びに大丸松坂屋セールスアシエツへの出向者を含む)の部長、マネジャー、サブマネジャー、バイヤー、デベロッパー&エディター、チームリーダー、DMSAのスーパーバイザー、セクションリーダーの合計。
 ※3~6.大丸松坂屋百貨店、博多大丸、下関大丸、高知大丸、鳥取大丸の合計です。※3.エネルギー使用量は、電気、ガス、ガソリン、軽・重油などの総使用量の原油換算値(単位:キロリットル)です。
 ※4.包装資材使用量は、包装紙、ショッピングバッグ、紙製袋、食品ポリ袋などの重量(単位:トン)です。※5.廃棄物処分量は、一般ゴミ、食品生ゴミ、産業廃棄物等の総排出量からリサイクル分を除いた重量(単位:トン)です。※6.食品廃棄物処分量は、廃棄物処分量に含まれます。

連結営業利益

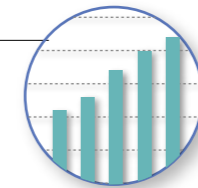
480億円



2016年2月期は百貨店、パルコなど基幹事業を中心に売上が好調に推移するとともにコスト管理を徹底したことにより、連結営業利益は予想を上回る480億円となり、6年連続の増益かつ過去最高益を更新しました。

年間配当

5年連続増配



健全な財務体質の維持・向上をはかりつつ、利益水準、今後の設備投資、FCFの動向等を勘案し、安定的な配当を心がけ連結配当性向30%以上をめどに適切な利益還元を行うことを基本方針としています。2016年2月期は50億円の自己株買いも実施しました。

カード会員数

600万人



2016年2月末現在、大丸松坂屋百貨店で420万人、パルコで188万人、あわせて600万人以上のカード会員様がいらっしゃいます。データ分析により、お客様の嗜好にあったプロモーションや商品政策に生かすことができます。

社外取締役の取締役会出席率

100%



当社取締役9名のうち2名は独立社外取締役であり、2016年2月期の取締役会出席率はそれぞれ100%です。ガバナンス改革の柱である取締役会運営の強化において、社外の目を取り入れた活発な議論が生まれています。

ROE

6.9%



最重要視する経営指標である自己資本当期純利益率(ROE)の2016年2月期実績は、利益水準の向上および資本効率の向上への取り組みにより6.9%となりました。中期的にはできるだけ早期にROE8%達成を目指します。

入店客数

3億人



大丸松坂屋百貨店の直営店18店舗に訪れていただいているお客様の数は、なんと年間2億人以上、パルコも合わせると3億人以上となります。これはまさに地域の皆さまに愛され、親しまれていることを端的に表す定量的な指標と言えます。

女性社員比率

49.9%



大丸松坂屋百貨店の女性社員比率は2016年2月末現在で49.9%、女性リーダー比率は28.2%と、女性の活躍の場が広い職場です。性別、国籍を問わず、多様性を競争力の源泉としたマネジメントを進めています。

エネルギー使用量(原単位換算値)の削減

-14.9%



2015年度の大丸松坂屋百貨店(関係百貨店含む)のエネルギー使用量は、エネルギー原単位換算※で、2010年度比14.9%削減しました。LED照明など省エネ効率の高い設備・機器の導入などにより、CO₂削減による地球温暖化防止に貢献するとともに、コスト削減にも寄与しています。
 ※エネルギー原単位:電気、ガス、ガソリン、軽・重油などの総使用量の原単位換算値を店舗の延床面積及び営業時間で除した数値